

# みんなの「声」

Vol. 12

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。  
表紙（1ページ）に登場いただいた家族にお話を聞きました。

## 織笠地区在住の石崎さん家族

武久さん 久聖（ひさき）くん（6歳・三男）  
優汰（ゆうた）くん（10歳・長男）  
友紀子さん 絢士（あやと）くん（8歳・次男）

## 子育て世代が住みやすい町へ！

—町の好きなところは—  
海がきれいなところと、食べ物がおいしいところですよ。

—町に望むことは—  
子育て世代が住みやすい町になってほしいと思います。

—子どもたちに望むことは—  
何より健康でいること。また何事にも一生懸命取り組んで、思いやりのある人になってほしいです。

## 傍聴席からひとこと

佐々木 泰子さん

第2回定例会を傍聴しました。

実際に傍聴すると、遠い存在であった議員の方々が、町民の声を代弁してくれる身近な存在と感じました。それは、議員の方々がする一般質問が、議員自身が見聞きし、問題とされたものを取り上げていたからです。一般質問を聞くまで、どの議員が、どのような考えや思いを持っているのか、なかなか知る機会がありませんでした。しかし、議会傍聴を通して、議員の方々の人となりをよく見ることができました。議会だけでなく、傍聴席からライブで聞くような温度感まではなかなか感じとれませんが、

自分が住む町のルールや仕組み、お金の使い方がどのように決められているのか、そ

No. 54

して、そのお金が実際にどのように使われたのか、町にある問題一つ一つがどのように解決されているのかなど、議会の傍聴は自分たちの暮らしに直結している様々なことを、リアルタイムで知ることができます。子育て世代や勤務中の方が、体が不自由な方や学生など、様々な立場の町民に開かれた議会になってほしい。

そのために、議会の様子をインターネット等を活用してライブ配信したり、録画したものを見られるようにするなどして、より多くの町民に、自分の町の仕組み作りに関心を持ってもらいたいと思います。

## あとかき

▼東日本大震災から復興の道筋が見え始めた矢先、台風19号による豪雨大被害。その復旧工事途上のなか、新型コロナウイルス禍により日本はもとより世界的規模のパンデミックにより空前の経済損失・日常生活の崩壊等の状況下、目に見えない脅威に、自粛、3密への対応等により県内・当町におきましても感染被害なく、緊急事態解除宣言を迎えたことは町民の皆様方一人一人の感染拡大防止への意識向上の成果と感じております。▼第2波、3波も想定され楽観できない状況です。これからも緊張感をもちながら「ピンチをチャンス」に！思いを一つに共に町の賑わいを創り出していかねばと、思いを新たにしました定例会でした。（豊間根）

### ◆発行責任者

議長 毘 暉 雄

### ◆議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明  
副委員長 阿 部 吉 清  
委員 阿 部 吉 清  
豊間根 吉 清  
横田 龍 一  
阿部 幸一

